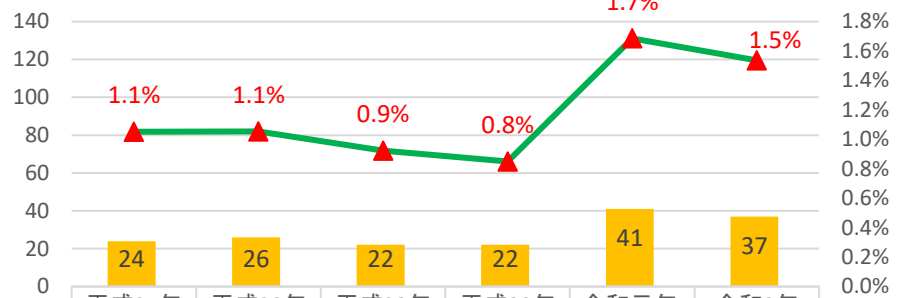


25.外国人労働者災害の発生状況(令和2年)

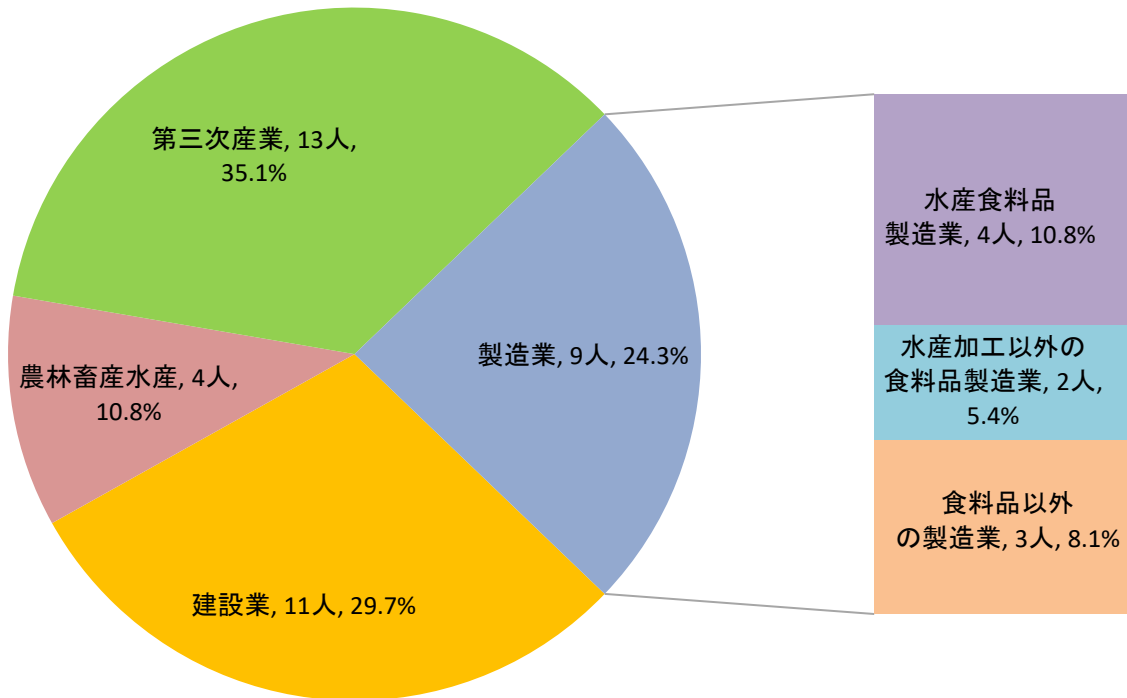
(外国人労働者災害:37人)

(1)年別推移【外国人労働者死傷者】

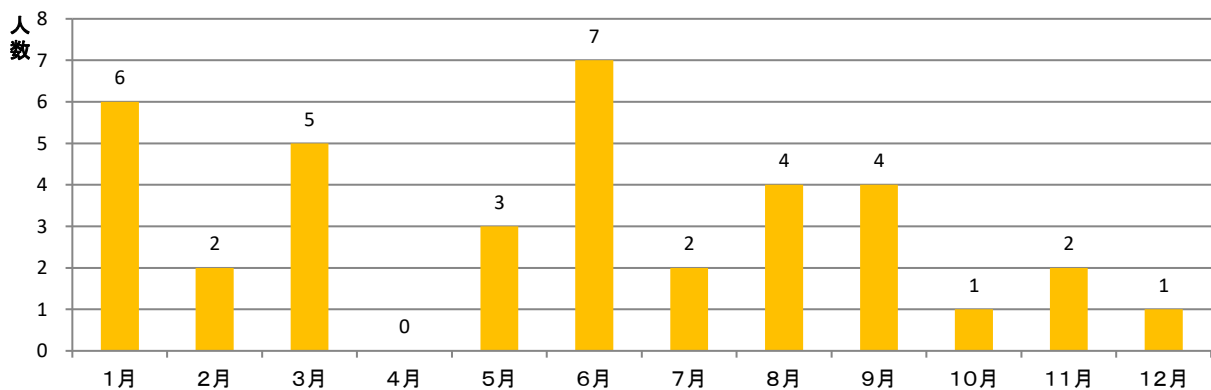


■ 件数	24	26	22	22	41	37
■ 災害総数	2,282	2,467	2,385	2,589	2,432	2,407
▲ 災害総数に占める割合	1.1%	1.1%	0.9%	0.8%	1.7%	1.5%
■ 外国人労働者数(各年10月末時点)	6,355	7,804	9,337	11,001	13,587	13,797

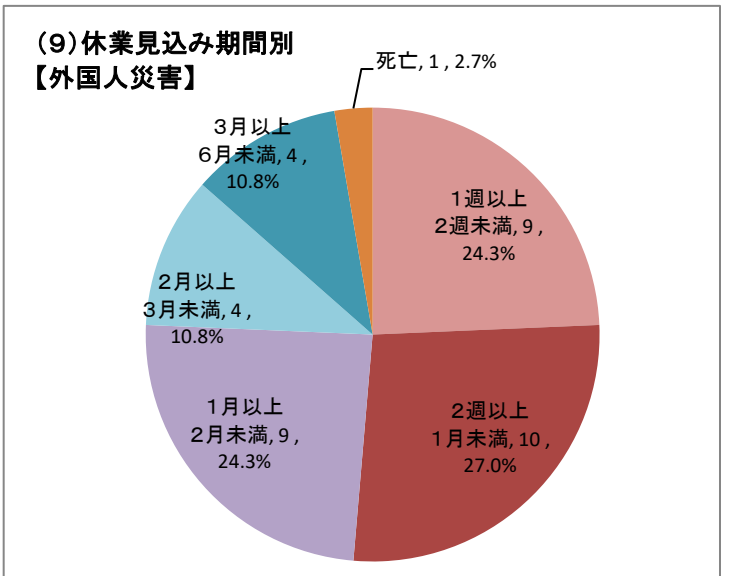
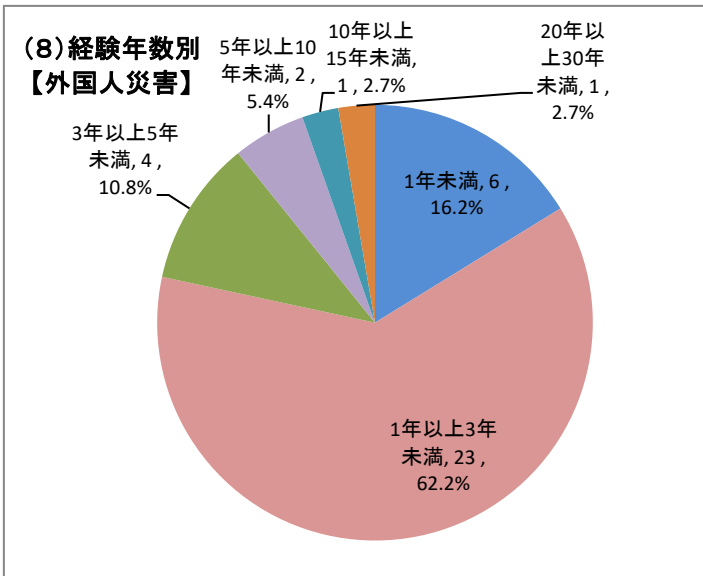
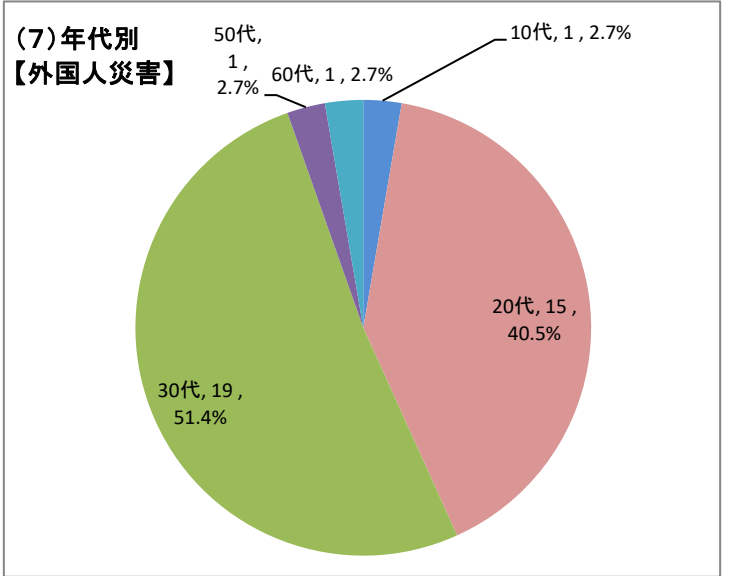
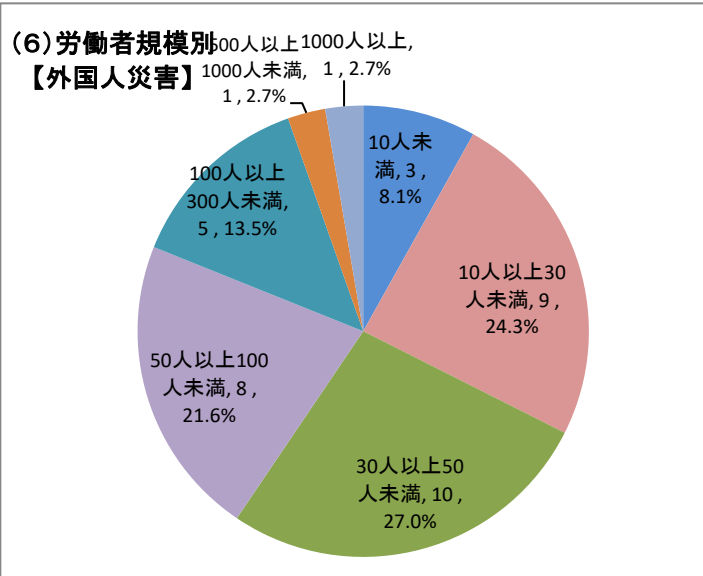
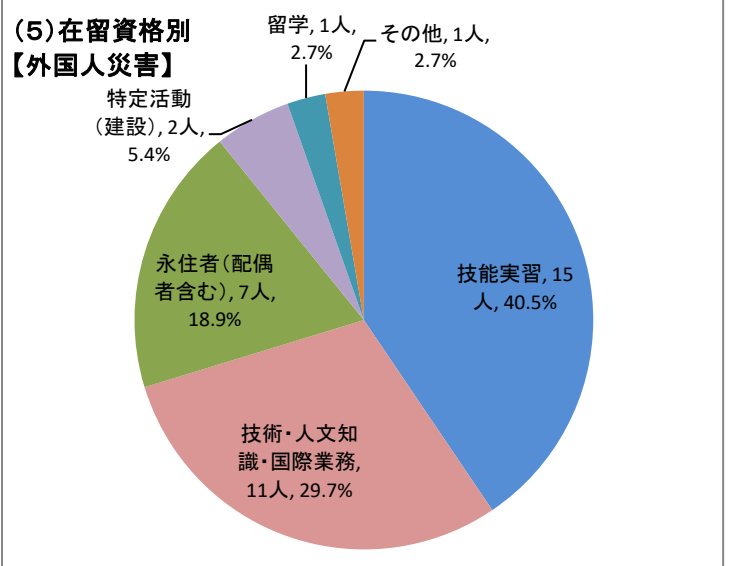
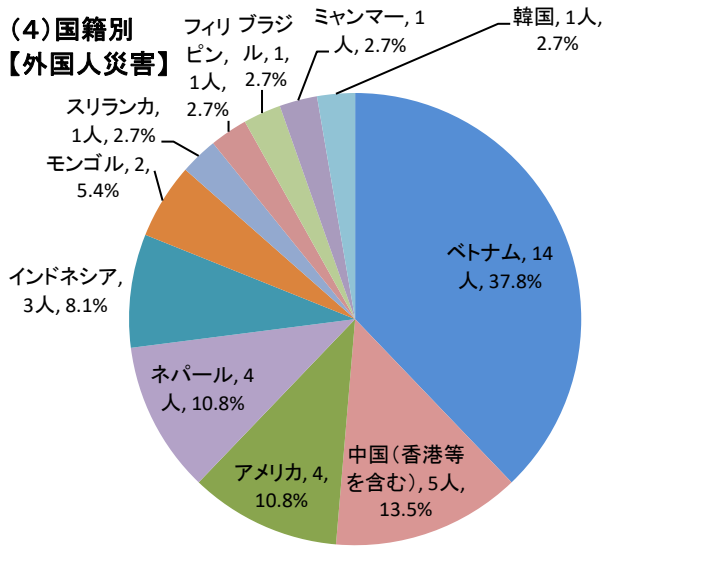
(2)業種別死傷者数【外国人労働者】37人



(3)月別労働災害発生状況【外国人災害】37人

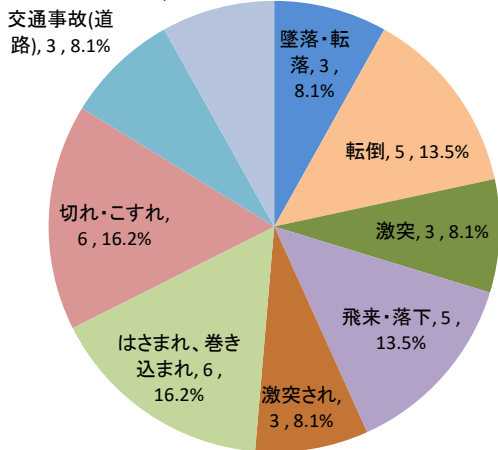


(外国人労働者災害:37人)

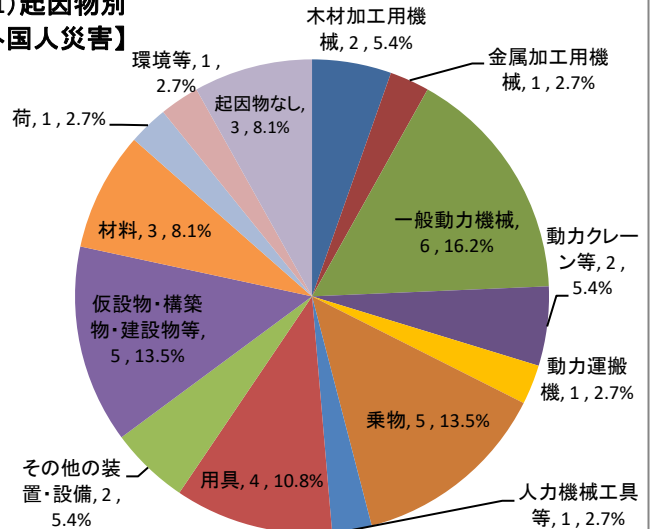


(10) 事故の型別
【外国人災害】

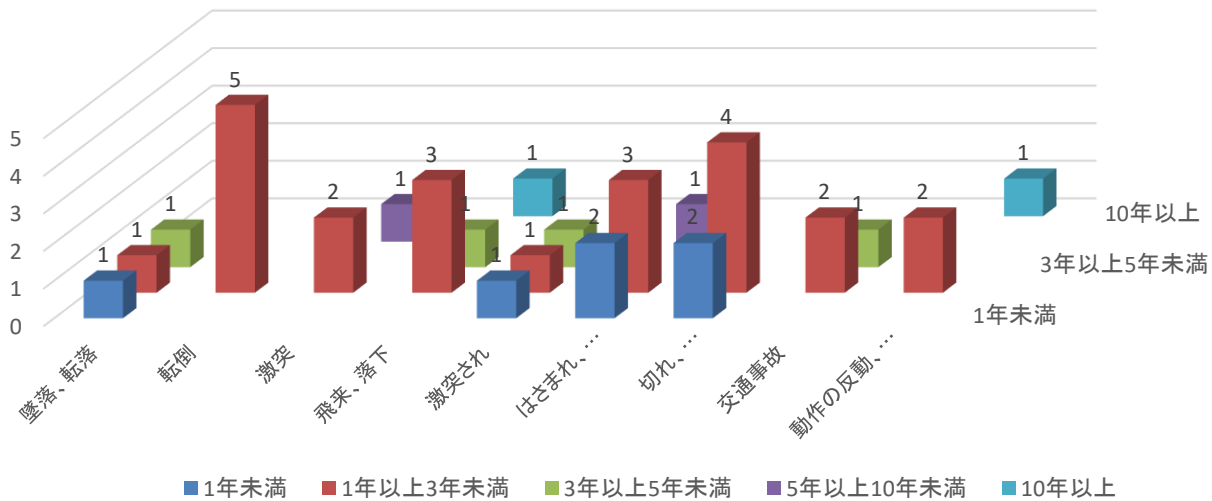
動作の反動・
無理な動作,
3, 8.1%



(11) 起因物別
【外国人災害】



(12) 事故の型・経験期間別【外国人災害】



1. 発生件数は、前年比で4人(9.8%)減少している。、全労働災害に占める割合は1.5%と前年よりも0.2%減少した。
2. 業種別にみると、「建設業」が29.7%、「製造業」が24.3%を占めている。
3. 在留資格別でみると、「技能実習」が40.5%となっている。
4. 経験年数別では、「1年以上3年未満」が62.2%を占めている。
5. 事故の型別では、「はさまれ、巻き込まれ」「切れ・こすれ」がそれぞれ16.2%と最も多く、次いで「転倒」「飛来・落下」がそれぞれ13.5%の順となっている。
6. 経験年数「1年以上3年未満」の「転倒」「はさまれ、巻き込まれ」「切れ・こすれ」「飛来・